

## 活動報告書

報告者氏名：藤井 契 所属：大分県立竹田支援学校 記録日：平成 24 年 6 月 10 日～  
平成 25 年 2 月 15 日

### 【対象児（群）の情報】

- ・ 学年  
中学部
- ・ 障害名  
知的障がいなど
- ・ 障害と困難の内容  
生徒によって時間は変わるが 10 分～60 分の作業時間は継続して行うことができる。  
人前での発表に恥ずかしさがある。

### 【活動目的】

- ・ 当初のねらい  
ジョブチャレンジ（就労体験実習）において、自分の作業風景を振り返ることはもちろん、友だちの頑張っている様子を見たり、体験先の方の意見を聞いたり、「働くこと」ことへの意識を高く持ってほしい。
- ・ 実施期間  
ジョブチャレンジ期間（平成 24 年 6 月下旬、平成 24 年 11 月下旬）
- ・ 実施者  
岩田康秀
- ・ 実施者と対象児の関係  
学部主事

### 【活動内容と対象児（群）の変化】

#### ・対象児（群）の事前の状況

中学部では、年に2回の実習を行っている。1年生は何名かの先輩が働く姿を見学に行くことができた。自分以外の友だちがどのような仕事を行っているかは、写真で見るとしかできなかった。

#### ・活動の具体的内容

実習先の様子をビデオで撮影し、学校に戻ってからみんなに様子を伝えることができた。また、実習先の方のインタビューを通して、就労に必要な力を教えてもらうことができた。それらを学部で共有することで、2回目の実習においては、事前学習でも振り返ってみることができた。

#### ・対象児（群）の事後の変化

1回目の実習では、自分だけきつい思いをしているのではとの思いを持った生徒がいたが、ビデオで見ることで、友だちも頑張っている様子がわかり、また他の仕事の内容を知ることが出来て、仕事への興味関心が高まった。

### 【報告者の気づきとエビデンス】

#### ・主観的気づき

実習の受け入れ先の方にも、生徒の学校での様子が伝わって良かった。  
生徒同士が頑張っている姿を共有できたことで、学部全体がジョブチャレンジへ向けて一体感が生まれてきた。

#### ・エビデンス（具体的数値など）

すみません。具体的な数字が出せませんでした。

#### ・その他エピソード（画像などを含めて）

1回目の事後学習においては、60分を超える授業となったが、みんな画面を見ながら友だちの実習の様子を見ることができた。最後に iMovie の映画予告編で次回予告を作成した。2回目の実習前に予告編を見ながら振り返ることで、意欲の向上につながった。

